

各国立大学法人（大学院大学を除く）の長 殿

社団法人国立大学協会
新型インフルエンザのアセスメントに関するワーキング・グループ
座長 濱口 道成（名古屋大学長）

新型インフルエンザの流行状況等について

標記のことについて、「新型インフルエンザのアセスメントに関するワーキング・グループ」において、以下のとおり取りまとめましたので、一般入試の特例措置の実施にあたっての参考としてください。

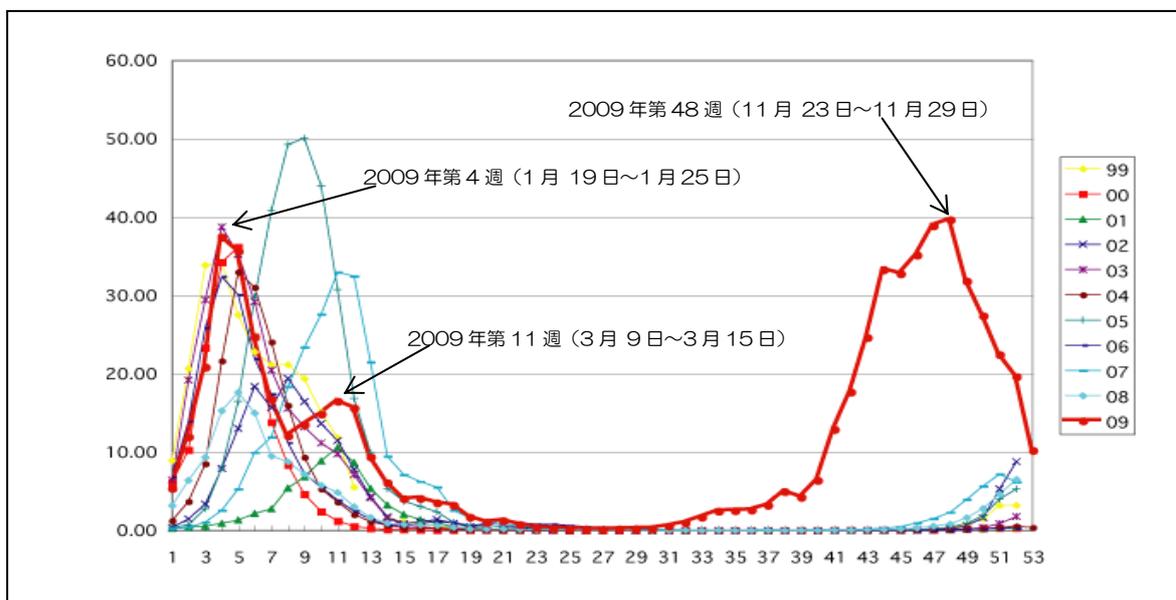
1. 直近の流行状況

国立感染症研究所感染症情報センターの発表によると、2010年第1週（1月4日～1月10日）におけるインフルエンザの定点当たりの患者報告数は、前週（2009年第53週）の10.22から、9.18に減少しており、図表Ⅰのとおり継続的に低下してきている。また、そのピークは第48週にみられ、例年の季節性インフルエンザのピーク時のデータと同程度の数値を示していた。

各都道府県（第1週）の定点当たりの患者報告数については、図表Ⅱのとおりとなっている。詳細なデータは、各都道府県から得ることとされたい。

なお、日本におけるインフルエンザウイルス分離状況は図表Ⅲのとおりであり、現時点では季節性インフルエンザはほとんど検出されていない。

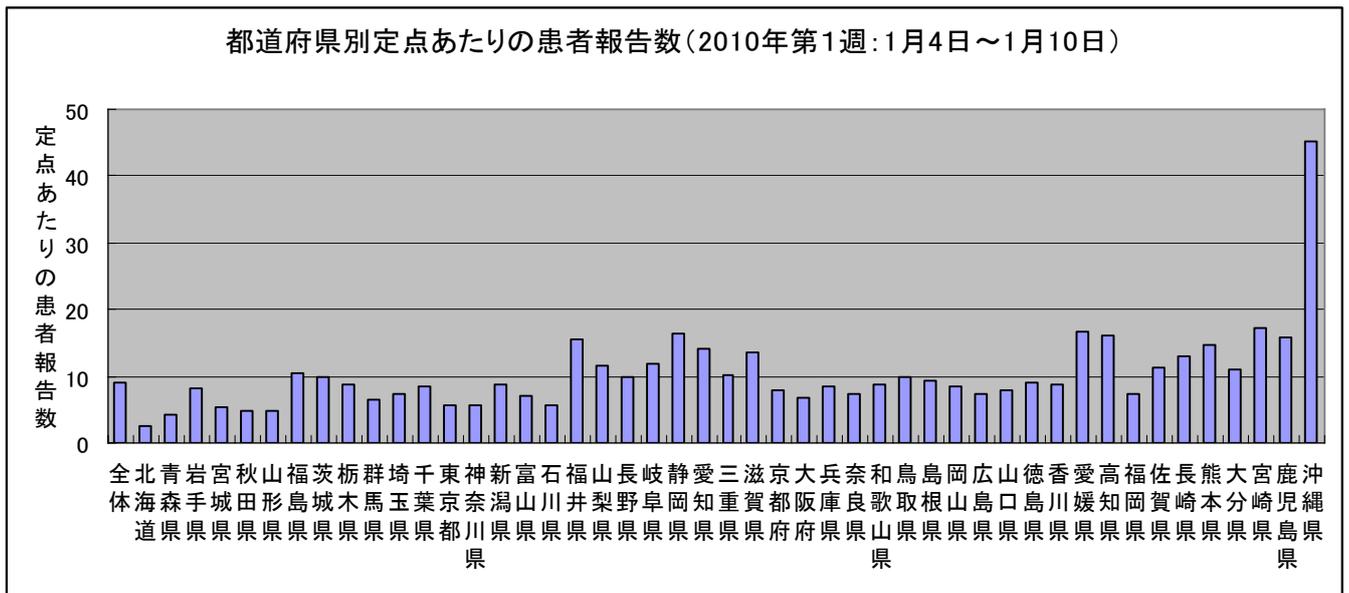
図表Ⅰ インフルエンザに関する過去10年間の定点観測（患者報告数）



（出展：国立感染症研究所感染症情報センターHP掲載情報）

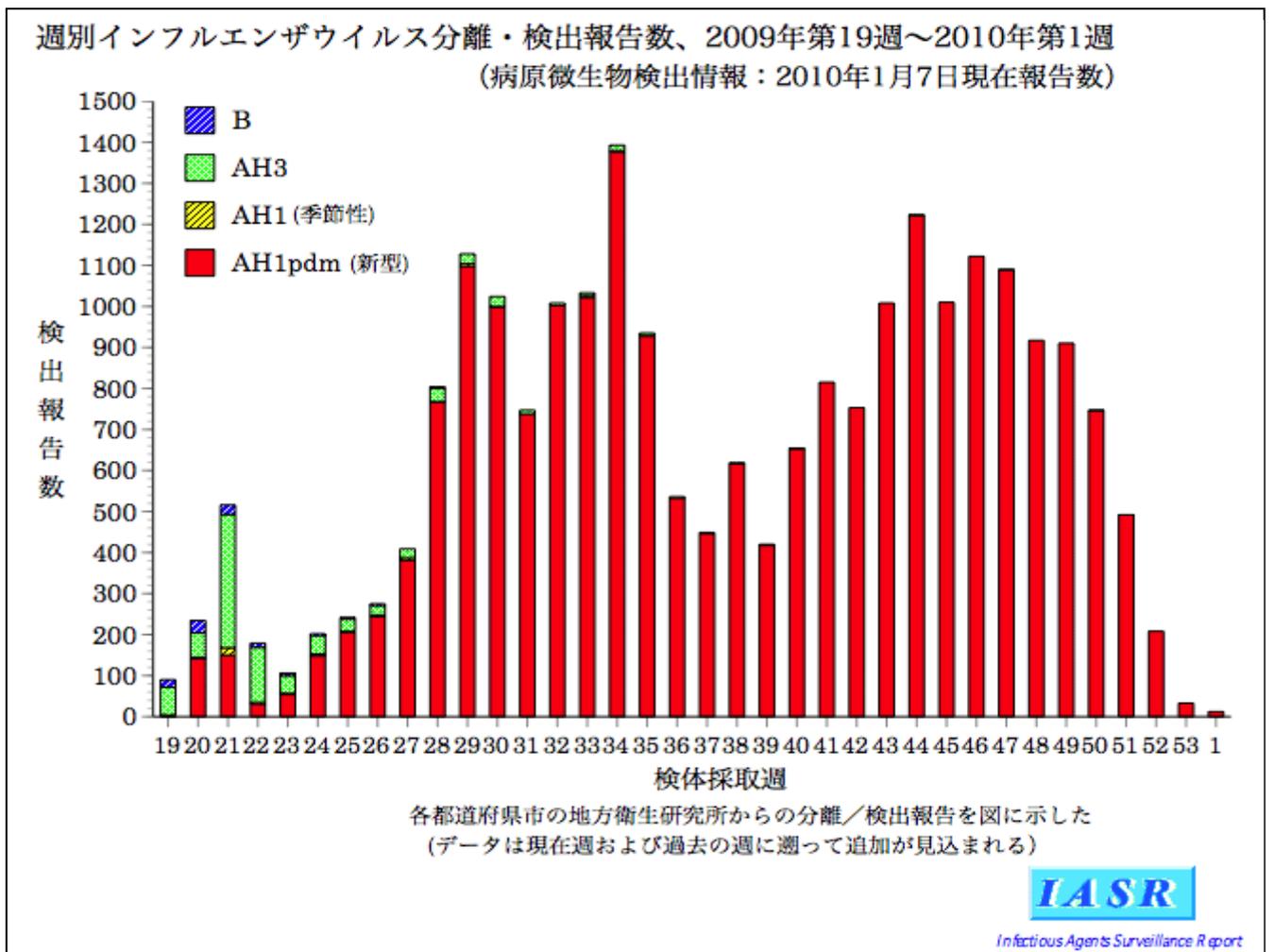
※ 2010年第1週（1月4日から1月10日）における定点当たりの報告数は、9.18

図表Ⅱ 都道府県別インフルエンザの定点あたりの患者報告数



*国立感染症研究所感染症情報センターHPの情報を基に作成

図表Ⅲ 我が国におけるインフルエンザウイルス分離状況



(出展:国立感染症研究所感染症情報センターHP掲載情報)

2. 前期・後期日程試験時期における流行状況等の予測

直近の流行状況等については上記のとおりであるが、これらを総合的に勘案すると、前期・後期日程試験実施日における感染状況は、仮に季節性インフルエンザが流行した場合でも例年並みであると予測される。また、南半球のように新型インフルエンザ流行により季節性インフルエンザの発症が抑制されれば、1月以降の当分の間のインフルエンザの流行は例年を越えない可能性も予測されるが、各大学においては、引き続き注視することが望まれる。

3. 平成 22 年度大学入試センター試験実施状況

これまでの大学入試センター試験の追試験受験許可者数の状況は、図表Ⅳのとおりで、平成 22 年度は、過去最多の 972 名となっており、そのうち、インフルエンザ及び類似症によるものが 509 名となっている。

なお、平成 22 年度大学入試センター試験の都道府県別の受験状況等については、参考 1 のとおりである。

図表Ⅳ 大学入試センター試験追試験受験許可者数

年度	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
追試験受験許可者数	310	227	270	479	251	934	248	396	292	627	377	258	229	405	373	177	218	161	161	231	972

(注) 平成 22 年度は、従前と異なり、①追試験受験申請の受付開始時期を早め（本試験の前日→4 日前）、②追試験会場を拡大する（全国 2 か所→全都道府県）特別措置を講じている。

参考1 平成22年度 大学入試センター試験実施状況（大学入試センター提供資料）

平成22年度大学入試センター試験 追試験受験許可状況

平成22年1月18日
独立行政法人大学入試センター

（単位：人）

受験許可者数	事 由		
	疾病・負傷	うち、インフルエンザ及び類似症	事故等
972	838	509	134

（内訳）

区 分		計
疾病・負傷	インフルエンザ及び類似症	509
	胃腸炎及び類似症	188
	その他の疾病	128
	負傷	13
計		838
事故等	交通機関の遅延	15
	やむを得ない事由	119
計		134
合 計		972

平成22年度大学入試センター試験追試験受験許可者数一覧

都道府県名	受験許可者数	申請事由						
		疾病・負傷				事故等		
		インフルエンザ インフルエンザ	及び類似症 類似症	胃腸炎及び 類似症	その他の 疾病	負傷	交通遅延	やむを得 ない事由
北海道	130	2	3	5	5		11	104
青森県	4	1		1	2			
岩手県	8	5			1			2
宮城県	13	4	1	6	2			
秋田県	5	3		1	1			
山形県	11	8	1		2			
福島県	15	4	1	5	4		1	
茨城県	29	19	2	5	3			
栃木県	19	13		2	3	1		
群馬県	17	11	3	3				
埼玉県	52	19	11	14	5	1		2
千葉県	36	17	3	7	9			
東京都(東)	93	29	19	22	21			2
東京都(西)	54	26	7	16	5			
神奈川県	50	21	9	11	6	2		1
新潟県	14	7	2	2			1	2
富山県	2		1	1				
石川県	5	3	1		1			
福井県	8	6	2					
山梨県	13	7	1	2	2			1
長野県	11	4	3	2	2			
岐阜県	8	3	1	4				
静岡県	25	20		2	2	1		
愛知県	58	28	15	6	8	1		
三重県	19	5	2	8	3			1
滋賀県	6	1	1	3	1			
京都府	23	6	4	9	4			
大阪府	47	15	8	9	11	1	1	2
兵庫県	52	31	5	7	7	2		
奈良県	12	5	2	3	2			
和歌山県	6	4		2				
鳥取県	1	1						
島根県	1				1			
岡山県	13	5	3	2	2			1
広島県	27	17	4	2	3	1		
山口県	4			3				1
徳島県	3	1		2				
香川県	6	2		4				
愛媛県	3	2				1		
高知県	2	1	1					
福岡県	22	9	3	6	3	1		
佐賀県	5		1	1	3			
長崎県	3	3						
熊本県	8	2	2	3	1			
大分県	3			2		1		
宮崎県	6	2		2	2			
鹿児島県	6	2	2	1			1	
沖縄県	14	10	1	2	1			
合 計	972	384	125	188	128	13	15	119

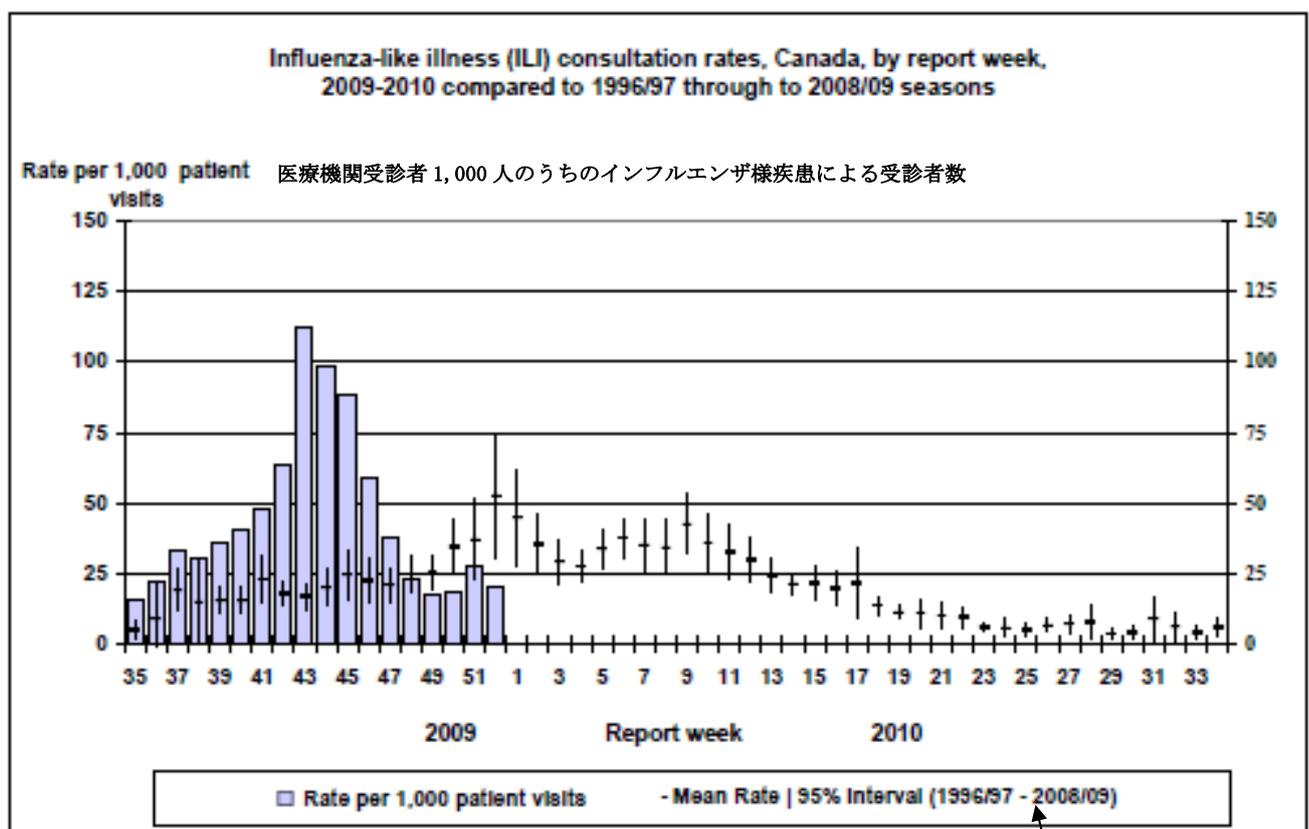
(注)都道府県名は、追試験場の所在地

参考2 各国の流行状況

1. カナダ

カナダ公衆衛生庁によると、2009年末における新型インフルエンザの活動はおさまっており、同庁の報告書では次のように記述されています。（**During weeks 51 and 52, influenza activity in Canada remained low with most of the influenza surveillance regions reporting either sporadic or no activity.** カナダにおけるインフルエンザの活動は、2009年第51週と第52週（2009年12月20日～2010年1月2日）では、低調で、大部分の地域では、散発的もしくは見られないとの報告である。）

図表V カナダにおけるインフルエンザ様疾患に係る医療機関受診率



Note: No data available for mean rate in previous years for weeks 19 to 39 (1996-1997 through 2002-2003 seasons). Delays in the reporting of data may cause data to change retrospectively.

1996/97年から2008/09年までの期間における平均値

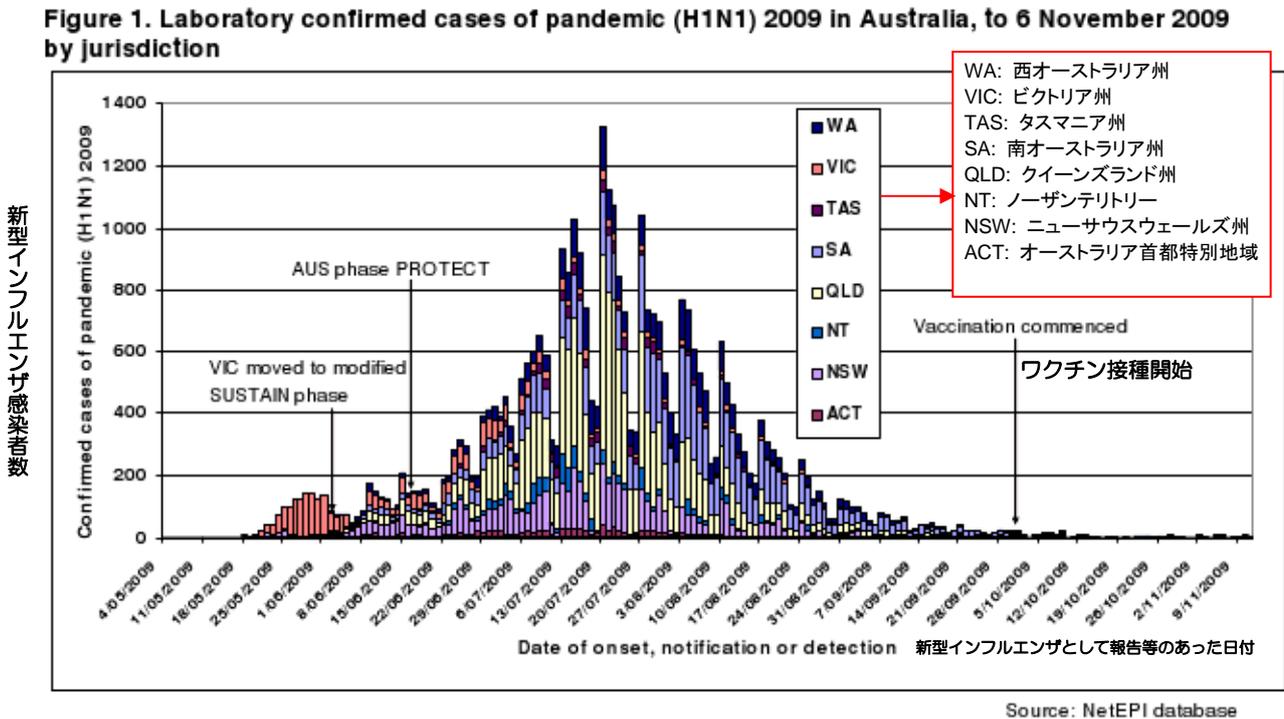
(出典) カナダ公衆衛生庁HP掲載情報

http://www.phac-aspc.gc.ca/fluwatch/09-10/w51-52_09/pdf/fw2009-51-52-eng.pdf

2. オーストラリア

オーストラリア政府保健・高齢化省によると、新型インフルエンザは終焉しているようです（図表VI参照）。

図表VI オーストラリアにおける2009年11月6日までの新型インフルエンザ感染者数

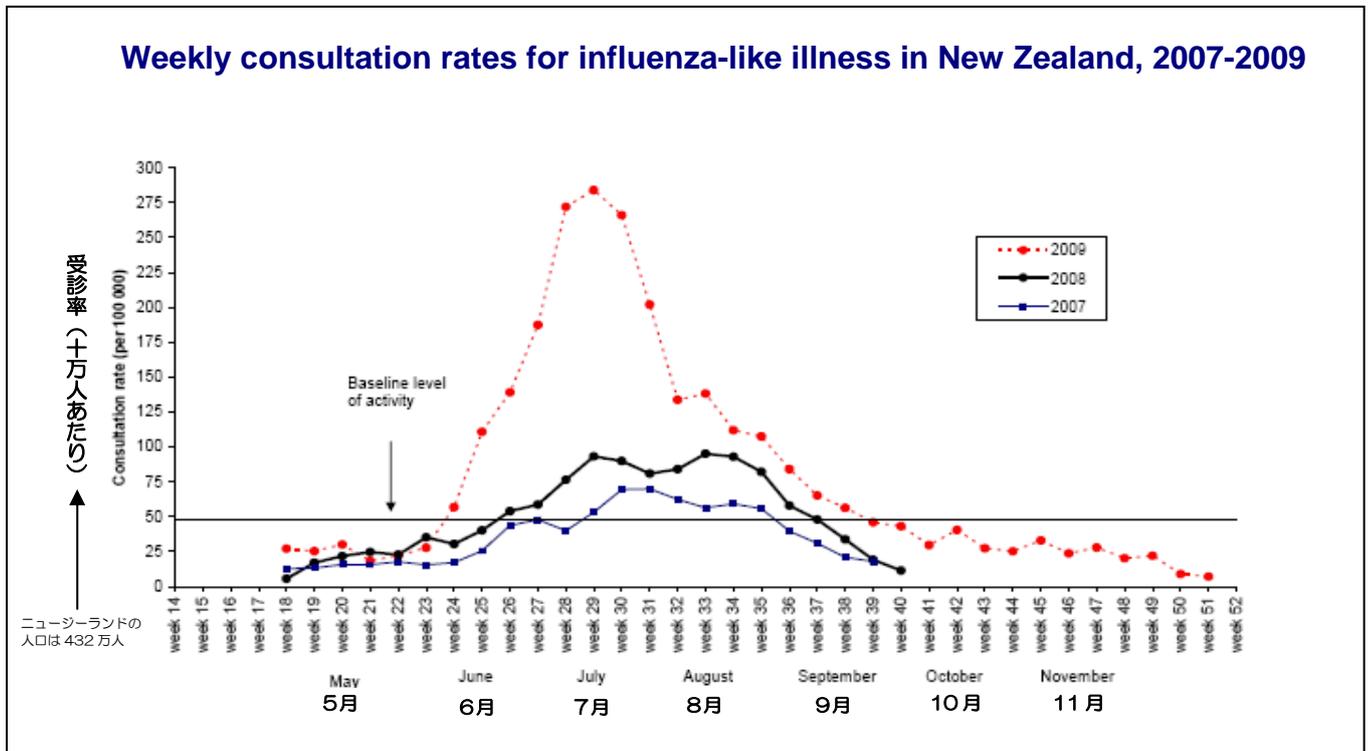


(出展) AUSTRALIAN INFLUENZA SURVEILLANCE SUMMARY REPORT(No.27, 2009, REPORTING PERIOD: 7 November 2009 – 13 November 2009)
http://docs.google.com/viewer?a=v&q=cache:sPfwaltHwskJ:www.health.gov.au/internet/healthemergency/publishing_nsf/Content/ozflu2009.htm/%24File/ozflu-no27-2009.pdf+australian+influenza+surveillance+summary+report&hl=j a&gl=jp&sig=AHIEtbTSkcYxxU46U3xeUn1KKt5xvcU-4A

3. ニュージーランド

ニュージーランド保健省によると、29週をピークに以降51週まで継続的に低下しております（図表Ⅶ参照）。

図表Ⅶ ニュージーランドにおける2007年～2009年までのインフルエンザ様疾患に関する週毎の医療機関受診率



Source: Institute of Environmental Science and Research, Influenza Weekly Update 2009/47
 (出典) Media Release 23 December 2009 Pandemic Influenza(H1N1)09 Swine Flu-Update 166
<http://www.moh.govt.nz/moh.nsf/indexmh/influenza-a-h1n1-update-166-231209>